

重要取組シート

建設局 公園緑地部 公園監理課

取組項目		【緑空間の保全・活用による都市魅力の創出】 パークマネジメントの推進
現状・課題		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原池公園、原山公園では、民間活力を導入したパークマネジメントを推進し、BBQ 施設やカフェ等、民間の資金を活用した新たな施設整備が行われ、公園利用者数の増加や新たな財源の確保にもつながっている。 ○小規模な公園の公民連携として、美原ふる里公園では、地元企業と連携した公園の維持管理を開始し、維持管理費の縮減や公園の賑わい創出等の効果が生まれている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○その他の公園についても引き続き、民間活力を導入している公園での事例等も踏まえ、新たなパークマネジメントの取組の検討が必要。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> ○原池公園等、民間活力を導入した公園では、公園利用者へのサービス向上や安定的な管理運営の確保に向け、サービス内容等のモニタリングやサービス拡充の検討を行う。 ○大仙公園の来園者数増加に対応するため、民間活力を導入した新たな常設駐車場の設置及び来園者数が多い時期の臨時駐車場の拡充を行う。 ○小規模公園での公民連携を進めるため、堺市公園協会、愛護活動団体等と連携し、小規模公園での新たな官民連携に向けた情報発信及び収集を行う。 ○大浜公園のパークマネジメントを検討するため、民間事業者へのヒアリングや公園利用者へのアンケートを新たな取組として実施する。
スケジュール	前期 (～9月)	<p>【民間活力導入済み公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> サービス内容や運営状況のモニタリング（毎月） <input type="checkbox"/> 令和7年度事業評価の実施（5月） <input type="checkbox"/> 大仙公園における新たな駐車場管理者の公募（～7月） <p>【新たな取組の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大浜公園に関する事業者ヒアリング、公園利用者へのアンケートを実施（通年） <input type="checkbox"/> 小規模公園での公民連携に向けた情報発信及び収集（通年）
	後期 (～3月)	<p>【民間活力導入済み公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大仙公園における新たな駐車場の営業開始（10月）
	次年度以降	
進捗の状況	前期 (～9月)	
	後期 (～3月)	

(様式 4)

2030 堺市基本計画	該当する 施策	5- (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	-	目標値 (2030 年度) -
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを
	寄与する KPI	-	目標値 (2030 年度) -

重要取組シート

建設局 公園緑地部 公園緑地整備課

取組項目		【緑空間の保全・活用による都市魅力の創出】 金岡公園再整備事業
現状・課題		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○金岡公園は、供用開始から 66 年以上が経過し、一部施設の老朽化や多様化する市民ニーズ、新金岡地区の活性化に向けた取組の進展等、金岡公園を取り巻く環境は変化している。 ○運動公園としての機能を更に高め、金岡公園を含む周辺地域の魅力向上を図るため、金岡公園再整備の基本計画の策定を進めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境の変化に対応するため、運動公園としての機能向上や金岡公園を含む周辺地域の魅力向上を目的に金岡公園再整備を推進する必要がある。 ○公園内のプールは、著しい老朽化により令和 6 年度から閉鎖しており、から早期のリニューアルが必要な状況である。 ○ただし、新規に導入を検討しているプール施設やスポーツ施設は、市民ニーズ等を踏まえ整備の必要性を精査する必要がある。 ○プールの大規模改修を含めた公園全体の再整備には概算で約 60 億円が必要となるため、公的財政負担を軽減できる事業手法の検討や整備内容の精査が必要である。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> ○令和 8 年 3 月より実施している金岡公園再整備基本計画（案）に関するパブリックコメント結果をとりまとめ、本計画を策定する。 ○再整備の実施に向けた民間活力導入可能性調査において、市場調査を実施し、事業の実現可能性や採算性等を検証する。また、市場調査結果や事業効果を踏まえ、整備施設の必要性を精査する。 ○精査した内容を基に、整備内容を示した事業計画を作成する。
スケジュール	前期 (～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 金岡公園再整備基本計画の策定（5月） <input type="checkbox"/> 事業手法の検討（7月～9月） <input type="checkbox"/> 民間事業者への市場調査（8月～9月）
	後期 (～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 費用対効果の算出、整備内容の整理（10月～11月） <input type="checkbox"/> 事業計画（案）作成（12月） <input type="checkbox"/> 事業計画策定・公表（3月）
	次年度以降	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業者公募に向けた資料作成、事業者公募
進捗の状況	前期 (～9月)	

	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	2- (5) 生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現	
	寄与する KPI	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）※1日に複数回に分けて合計30分以上の運動を週2回以上している場合も含む。	目標値（2030年度） 70.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 3	すべての人に健康と福祉を
	寄与する KPI	—	目標値（2030年度） —

重要取組シート

建設局 公園緑地部 公園緑地整備課

取組項目		【緑空間の保全・活用による都市魅力の創出】 2027 年国際園芸博覧会に向けた取組
現状・課題		<p>令和 9 年 3 月～9 月に横浜市で 2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO2027）が開催される。本博覧会は国際博覧会の「認定博」に位置付けられる最上位（A1）クラスの国際園芸博覧会であり、日本で開催する同規模の博覧会は、堺市も参加した 1990 年国際花と緑の博覧会「花の万博」以来となる。</p> <p>本市は、みどり豊かで潤いのある『大都市・大阪』の魅力を世界に向けて発信するため、大阪府・大阪市と共同で同博覧会に屋外庭園を出展する。</p> <p>○国際園芸博覧会の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名 称：2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO2027） ・開催期間：令和 9 年 3 月 19 日（金）～令和 9 年 9 月 26 日（日） ・開催場所：神奈川県横浜市旭区・瀬谷区 区域面積 約 100 ヘクタール ・テ ー マ：幸せを創る明日の風景 <p>【現状】</p> <p>R6 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同出展にあたり、出展準備及び運営等を円滑に行うことを目的として 大阪府知事を会長、大阪市長及び堺市長を副会長とした 2027 年国際園芸博覧会共同出展協議会（以下「協議会」）の設立について、令和 7 年 1 月 30 日 第 1 回協議会開催において決定した。 <p>R7 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭園作品の出展内容については、庭園デザインの選定委員会において学識経験者の意見を踏まえてコンセプト等を設定し、庭園作品の公募を行い、事業者提案（イメージパス等）に基づき基本設計を作成した。 ・基本設計図書について、3 府市において内容の合意形成を行い、令和 8 年 3 月 11 日 第 2 回協議会開催にて承認を得た。これを受け、基本設計図書を園芸博覧会協会（以下「協会」）へ提出した。 <p>【課題】</p> <p>○共同出展区画内等での PR 活動について、大阪府・大阪市及び庁内関係部署と連携し、実施内容・実施時期など、詳細な検討が必要である。</p>
取組の内容		<p>○共同出展区画内等での PR 活動について、実施詳細な検討を進める。</p> <p>※共同での出展作品に係る実施設計、現地工事は協会にて令和 8 年度中に実施する。</p>
スケジュール	前期 （～9 月）	<input type="checkbox"/> 協会による出展作品の実施設計、現地工事（4 月～3 月） <input type="checkbox"/> 共同出展区画内等における PR 活動の実施内容について検討（4 月～3 月）
	後期 （～3 月）	<input type="checkbox"/> 3 府市による現地確認（2 月～3 月） <input type="checkbox"/> 第 3 回協議会を開催（園芸博覧会開催に関する情報発信等）（3 月） <input type="checkbox"/> 2027 年国際園芸博覧会開催（3 月）
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 令和 9 年 3 月～9 月 国際園芸博覧会開催

進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策		
	寄与する KPI	-	目標値 (2030年度) -
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 15	陸の豊かさを守ろう
	寄与する KPI	-	目標値 (2030年度) -

重要取組シート

建設局 公園緑地部 公園緑地整備課

取組項目		【緑空間の保全・活用による都市魅力の創出】 堺市緑の基本計画改定
現状・課題		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○堺市緑の基本計画（以下「基本計画」）は都市緑地法及び堺市緑の保全と創出に関する条例に基づき策定している本市における緑のマスタープランである。 ○今年度は令和 4 年度に改定した現基本計画の中間年度であり、中間評価を実施し、改定に向けた検討を進める必要がある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本計画の策定以降、都市緑地法の改正や、上位・関連計画等の改定があり、同じ方向性をもって基本計画を進めていくために、中間評価の結果を受けての成果、課題や、近年の気候変動や都市環境の変化など社会情勢等の変化に対応した計画として改定する必要がある。 ○また、法改正により基本計画への位置づけが必要となった特別緑地保全地区の緑地の保全をはじめ、緑の将来像の実現に向けた市の方針、取組を位置付ける必要がある。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> ○都市緑地法の改正内容や、緑に関する国の基本方針、府の広域計画、市の上位・関連計画等を踏まえた今後の緑の保全・創出・活用等に関する考え方を整理する。 ○整理内容を踏まえ、緑の将来像の実現に向けて「緑の基本方針」「緑の目標」「緑の施策」を定める。 ○現基本計画の中間評価を行い、その成果や課題を踏まえて実施する。 ○改定内容の検討に当たっては、堺市緑の基本計画推進庁内委員会と堺市緑の政策審議会での議論を重ねながら検討を進める。
スケジュール	前期 (～9月)	<ul style="list-style-type: none"> □堺市緑の基本計画策定（更新等）業務の契約締結（6月） □第 1 回堺市緑の基本計画推進庁内委員会の開催（事業の進捗状況、現基本計画の中間評価結果の確認等）（8月）
	後期 (～3月)	<ul style="list-style-type: none"> □第 1 回堺市緑の政策審議会開催（現基本計画の中間評価結果、現況・課題整理、改定の考え方、将来像、基本方針等の審議）（10月） □第 2 回庁内委員会の開催（基本計画骨子案確認）（10月） □第 2 回審議会開催（目標、取組施策の検討も含めた骨子案の審議）（1月） □第 3 回庁内委員会開催（基本計画素案確認）（2月） □基本計画素案大阪府事前協議（2月）
	次年度 以降	<ul style="list-style-type: none"> □令和 9 年度第 1 回審議会開催（基本計画素案の審議） □庁議 □基本計画（案）パブリックコメントの実施、結果報告（市長、議会） □基本計画（案）大阪府本協議 □第 2 回審議会開催（基本計画（案）承認） □堺市緑の基本計画改定

進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	—	
	寄与する KPI	—	目標値(2030年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 15	陸の豊かさを守ろう
	寄与する KPI	緑地保全・緑化推進に関する活動を行った団体数	目標値(2030年度) 121 団体